

# “女性が活躍できる建築業界”のために

社会のあちこちで「女性活躍」を促す声が聞かれる昨今。マンパワーを存分に活かし、偏らない多様な考えを採り入れるために、産業界でもさまざまな取り組みが見られるようになってきている。2015年には国が「女性活躍推進法」を制定。その後改定を重ね、現在では従業員数101人以上の企業に、自社の女性活躍の状況を把握し、課題を分析したうえで行動計画を策定し、届け出ることが義務付けられている。建設業に関しても、国交省が2020年に「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画」を策定するなどの動きが出てきている。

ただ、たしかに変化してきてはいるものの、建築業界において、女性が男性と同じ水準の環境で働けるようになるには、システムの上でも、意識の上でも、また従事する人の数においても、まだまだ改善しなければならない部分が多い。

そこで2024年新年号では、月刊建築仕上技術・月刊建材フォーラムの2誌合同で、特集「“女性が活躍できる建築業界”のために」を企画。日本建築仕上学会「女性ネットワークの会」のメンバーによる、「女性が働く場」としての建築業界について語り合った座談会のような、ゼネコン女性技術者の見る“女性が活躍できる建築業界”についてのインタビュー、さらには、女性ネットワークの会が9年にわたり実施している建設業界で働く女性へのアンケート結果を掲載し、今後の建築業界のあり方を探っていく。

編集部

## 新春座談会

変化のとき、女性が活躍できる時代へ ..... 8

## インタビュー

ゼネコン女性技術者から見た、「女性が活躍できる建築業界」 ..... 19

(株)大林組 技術研究所 生産技術研究部 主任研究員 奥田 章子 氏に聞く

## レポート

待遇改善は進みつつも女性活躍はこれから ..... 22

—建設現場で働く女性へのアンケート結果より—

日本建築仕上学会 女性ネットワークの会 主査 熊野 康子

